



事業報告書



Mom & Dad Japan

2024年度事業報告書

京都府交響プロジェクトスタートアップ助成事業
多文化共生・子育て支援情報発信プロジェクト

MOUNTAIN HOUSE

目次 | OUTLINE

- [1. はじめに](#)
- [2. 事業概要](#)
 - [2.1 ワークショップの概要](#)
 - [2.2 ディスカッション内容](#)
 - [2.3 広報物](#)
 - [2.4 アンケート調査](#)
 - [2.5 運営・広報協力者](#)
- [3. 主な成果と考察](#)
 - [3.1 外国人家庭との関わりから見えてきたこと](#)
 - [3.2 支援の方向性](#)
 - [3.3 必要な視点](#)
- [4. 今後の展望](#)
- [5. 参考資料・関連リンク](#)
- [団体概要](#)

1. はじめに

MOUNTAIN HOUSEは、地域社会と連携を通じて、誰もが地域の一員としてつながれる社会を目指しています。本事業では、2024年度地域交響プロジェクト交付金 スタートアップ支援プログラムの助成を受け、多文化家庭の子育てに関する情報提供の方法を改善し、必要な情報にアクセスしやすい環境を整えることを目的に、「出産・子育て」をテーマとした計3回のワークショップを実施しました。

本事業の概要や、実施に至った背景を報告書としてまとめることで、明らかになった課題を多くの方々と共有し、多文化家庭が地域に根ざし、安心して暮らせる環境づくりを進めていきたいと考えています。そして、互いに良い影響を与え合える関係を築くことができれば幸いです。

事業実施にあたり、母子保健に携わる支援者の方々をはじめ、京都市・宇治市や支援団体の皆さまから多大なご協力をいただきました。また、準備を含め、事業の推進に尽力いただいたMamo HeartのKevinさんに心より感謝申し上げます。

2025年3月15日
MOUNTAIN HOUSE 代表理事
ヴァンヘルク 悠記

2. 事業概要

本ワークショップでは、外国人家庭が抱える子育ての課題を明らかにし、支援の方向性を検討しました。当日の参加者から得られた貴重な意見を整理し、その一部を以下に抜粋しています。

2.1 ワークショップの概要

ワークショップ名称

International Mom & Dad in Kyoto

内容

本ワークショップは、外国人家庭向けの子育て支援情報の発信方法を参加者と共に考える場です。各回の対象を育児段階(乳児・幼児・小学生以上)ごとに分け、子育て情報の取得方法や発信内容についてスカッションを行いました。メイン言語は英語で、日本語は補助的に使用。事前予約制で、乳児・幼児対象回のみ見守り保育を提供しました。

目的

1. 参加者が自身の子育て経験を振り返り、共通のニーズを共有する。
2. 参加者の意見をもとに、情報発信の改善点を明確にする。
3. ワークショップで得られた知見を、次年度の情報発信事業(例: 書籍やメディア制作)に活かす。

背景

自身の妊娠・出産体験や外国人家庭へのアンケート調査をもとに、以下のような課題が明らかになりました。また、京都府内の外国人住民は年々増加しており、特に京都市や宇治市ではその傾向が顕著です。一方で、外国人家庭や国際結婚家庭への子育て支援は十分とは言えず、以下の問題に対応する必要があります。

- 必要な子育て情報にたどり着くのが難しい。
- 適切な支援を受けられない家庭が多い。

プログラム対象

本ワークショップでは、以下の外国人家庭や国際結婚家庭を対象としました。

- 第1回: 小学生以上の子を持つ外国人夫婦、国際夫婦
- 第2回: 乳児を持つ外国人夫婦、国際夫婦、プレママ・パパ
- 第3回: 幼児を持つ外国人夫婦、国際夫婦

プログラム構成

1. 受付
2. 事業紹介
3. アイスブレイク(各トピックについて自身の経験を振り返り、付箋に書き出す)
4. グループトーク(各グループで主要な意見やニーズを共有)
5. 全体共有(全体で意見を共有し、共通ポイントを明確にする)
6. 情報提供
7. アンケート・集合写真

配置

ワークショップの円滑な運営のため、毎回2～4名の支援者体制を確保しました。

- ファシリテーター:1名
- 記録・ファシリテーターサポート:1名
- 保育士:2名(乳児・幼児対象回のみ)

実施日・会場・参加者数

日程	会場	参加者 (大人/子供)	子供内訳 (乳児/幼児/児童)	備考
1月18日(木) 11:00-12:30	カレー設計事務所(宇治市)	6名 / 2名	1名 / 0名 / 1名	国際夫婦 ¹ 2組、外国人ママ1名、外国人プレパパ1名
2月15日(木) 13:00-14:30	まちづくりプラザ(京都市)	14名 / 6名	6名 / 0名 / 0名	国際夫婦5組、外国人夫婦1組、外国人プレママ1名、その他(外国人医療従事者)1名
3月1日(金) 11:00-12:30	まちづくりプラザ(京都市)	7名 / 5名	3名 / 1名 / 0名	国際夫婦1組、外国人夫婦1組、外国人ママ2名、その他(行政関係者)1名

ワークショップサイト

<https://vegetable-soup.my.canva.site/momanddadinkyotolp>

¹ 日本人夫と外国人の夫婦

2.2 ディスカッション内容

主なトピック

- 子育てに関する必要な情報
- どこで情報を探しましたか？
- 情報を得る際に困ったこと

参加者から得られた意見(一部抜粋)

- 子育てに関する必要な情報
 - 医療・健康: 病院の選び方・分娩予約、妊娠中・出産後の健康管理
 - 行政手続き: 出生後に必要な手続き、外国籍の赤ちゃんのビザ、外国人家庭が利用できる支援
 - 教育: 保育園・言語教育の選択肢
 - 生活環境: 家庭での環境づくり、外出時の子育て環境、公共のマナー
- どこで情報を探しましたか？
 - オンライン情報
 - 地域支援施設
 - 人的ネットワーク
- 情報を得る際に困ったこと
 - 情報のわかりにくさ
 - 言語の壁
 - 制度・手続きの複雑さ
 - 文化・習慣の違い

詳細は、以下のニーズリストで整理しています。閲覧希望の方はご連絡ください。

 [多文化家庭の子育て支援に関する課題リスト](#)

2.3 広報物

- パンフレット 300部
- ポスター 1部



INTERNATIONAL MOM&DAD IN KYOTO

Let's share, learn & build a supportive community!

18
JAN, 2025

15
FEB, 2025

01
MAR, 2025

Join us to create better parenting support for multicultural families in Kyoto! Each session focuses on different parenting stages, to share ideas and experiences.


MOUNTAIN HOUSE

OVERVIEW

Whether you're a foreign parent raising children in Japan or a Japanese parent with a foreign partner, our workshops are here to help you connect, share, and learn in a supportive community.

日本で子育てをする外国人家庭の皆さん、このワークショップで子育て情報を共有し、よりよい多文化で支え合うコミュニティを一緒に作りましょう！

OBJECTIVE

This workshop aims to create a society where multicultural families can raise children with confidence in Japan. Using participants' experiences and ideas, we will shape practical resources and support.

このワークショップは、多国籍の家庭が日本で安心して子育てできる社会をつくるために、参加者の経験やアイデアを活かして、実際に役立つ情報や支援を形にすることを目指しています。

FEE

Free 無料

CONTENT

We'll have a discussions about:

- How parents currently find information.
- What kind of information is most useful for each stage of parenting.

話し合うテーマ：

- どのように情報を見つける？
- どのような子育て情報が必要？

PARTICIPANTS

Foreign and multicultural families raising children in Japan.

日本で子育て中の多国籍ママパパ

VENUE FEATURE

Curry Design Office
カレー設計事務所

📍 3 min. from JR Ōbaku Station
JR奥楽駅 徒歩3分

👤 6 people
Parents with 6+ y.o. kids
最大6名 小学生以上の子がいる親

🕒 100-year-old machiya curry shop. Lunch available after the event!
築100年の町屋を改修したカレー屋さん。ランチの取り置き承ります。

Kyoto Machizukuri Plaza
まちづくりプラザ

📍 8 min. from Rakusaiguchi station
阪急洛西口駅 徒歩8分

👤 15 people
Parents with 0-2 or 3-5 y.o. kids
最大15名 0-2歳又は3-5歳の子がいる親

🕒 Kyoto city facility with kids' space and café. Childcare available!
キッズスペースとカフェを併設した京都市の施設。託児サービスあり！

International Mom & Dad in Kyoto

[Host | 主催] MOUNTAIN HOUSE
[Co-Host | 共催] Mamo Heart
[Support | 後援] Mother's Tree Japan
NPO法人Mother's Tree
Kyoto City International Foundation
京都市国際交流協会
Kyoto City
京都市
NPO Kosodatewo tanoshimukai
NPO法人子育てを楽しむ会

Issued | 発行日 December 2024
Publisher | 発行元 MOUNTAIN HOUSE



INTERNATIONAL MOM&DAD IN KYOTO

2.4 アンケート調査

ワークショップ終了後、参加者を対象にアンケートを実施しました。本アンケートでは、参加者の背景やワークショップの満足度、情報取得の方法などを把握することを目的としました。

調査項目：

- 国籍
- 年齢
- 子どもの年齢
- どのようにワークショップを知りましたか？

- なぜワークショップに参加しましたか？
- ワークショップの内容に満足していますか？

アンケート結果の詳細は、以下のリンクよりご覧ください。

 [ワークショップ参加者アンケート](#)

2.5 運営・広報協力者

- ワークショップ当日のファシリテーター：Mamo Heart
- 後援：NPO法人Mother's Tree、京都市国際交流協会、京都市、NPO法人子育てを楽しむ会
- 広報協力（チラシ配布、SNS・メディア配信）：
 - 公益財団法人京都府国際センター
 - 公益財団法人京都YWCA
 - 京都市子ども若者はぐくみ局
 - Kyoto network salon 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン
 - TABUNKO
 - anco kids Kyoto
 - せいかグローバルネット
 - JAFORE
 - ままもののわ
 - KYOTO LAUNDRY CAFE

3. 主な成果と考察

今回のワークショップを通じて、外国人家庭が直面する課題を整理し、必要な支援の方向性を明確にしました。今後は、具体的な支援策の実施に向けて、関係機関との連携を深め、持続可能な支援の仕組みを構築します。

3.1 外国人家庭との関わりから見えてきたこと

- 情報の分散と多言語対応の不足
→ **多言語の子育て情報の整備が急務**

外国人家庭が必要とする情報が様々な場所に分散しており、アクセスが困難であることが明らかになりました。また、多言語で提供されている情報が限られており、提供されていても十分に活用されていないケースが多いです。これに対し、

- 地域の子育て情報を多言語で整理し、一元化するプラットフォームの構築
- 行政・NPO・地域団体との連携強化による情報共有の促進が求められます。

- 地域コミュニティとのつながりの希薄さ
→ **定期的な交流イベントが必要**

国際家庭同士や地域住民との交流の場が少なく、孤立を感じやすい現状が浮き彫りになりました。特に、医療・行政手続き・育児に関して相談ができる窓口や支援ネットワークが不足していることが課題です。これに対し、

- 地域イベントや定期的な交流会を開催し、外国人家庭のネットワーク構築を支援
- 育児・医療・行政手続きに関する相談窓口の充実(オンライン・対面)といった支援が必要と考えられます。

- 子育て課題の変化と対応の難しさ
→ **地域情報を最新にアップデートする必要性**

子どもの成長に伴い、新たな課題(バイリンガル教育、学校選び、文化適応など)が発生し、適切な情報を得ることが難しくなる傾向があります。また、先の見通しが立てにくく、必要な支援を受けるタイミングを逃しやすいという声が多数ありました。これに対し、

- 子供の成長段階に応じた情報提供の仕組みを整備(例:年齢別ガイドやFAQ)

- 地域の最新情報を定期的にアップデートし、支援を必要とする家庭に適切なタイミングで届けるシステムの構築
- 教育機関・地域団体と協力し、学校選びや文化適応に関する具体的な支援策の強化といった対応が求められます。

3.2 支援の方向性

「3.1 外国人家庭との関わりから見えてきたこと」から、以下の支援が求められていることが明確になりました。

- 子育て情報の多言語対応と統一プラットフォームの整備
- 地域コミュニティを活用した交流イベントの定期開催
- 自治体と連携し外国人向けサポート制度の拡充

3.3 必要な視点

- 外国人家庭が抱える課題の多様性を理解し、個別対応を可能にする仕組みの整備
- 支援策を継続的に見直し、外国人家庭のニーズに応じた柔軟な対応を確立
- 行政・地域団体・企業との協力体制を強化し、持続可能な支援を実現

4. 今後の展望

今年度のワークショップで得られた意見やデータをもとに、次年度以降は、さらに具体的な支援策を検討・実施していきます。今後の取り組みとして、以下の点を重点的に進めていきます。

- 定期的なワークショップの開催：外国人家庭のニーズを継続的に把握し、支援策を改善。
 - オンライン情報発信の強化（メディア・Ebook/マガジン・SNS）：より多くの家庭に必要な情報を届ける仕組みを強化。
 - 地域コミュニティとの連携強化（自治体・NPO・支援団体）：支援のネットワークを広げ、実効性を高める。
 - クラウドファンディングや助成金申請を活用した支援の拡充：持続可能な支援活動を実現するための資金調達を推進。
-

5. 参考資料・関連リンク

 一般向けレポート | Mom & Dad Japan 2024 ~多文化共生×子育て支援のこれから~

 多文化家庭の子育て支援に関する課題リスト

 ワークショップ参加者アンケート

 当日の様子 (Instagram)

第1回 | 第2回 | 第3回

 ワークショップサイト

団体概要

名称: MOUNTAIN HOUSE

設立年: 2017年

代表理事: ヴァンヘルク 悠記

活動内容: 外国人家庭支援活動、山椒事業、メディアコンテンツ制作・ブランディング

公式ウェブサイト: <https://shop.mountainhouseproject.com/>

公式Instagram: @mountainhouseproject

お問い合わせ: 代表理事 ヴァンヘルク 悠記 yuki.ch.315@gmail.com



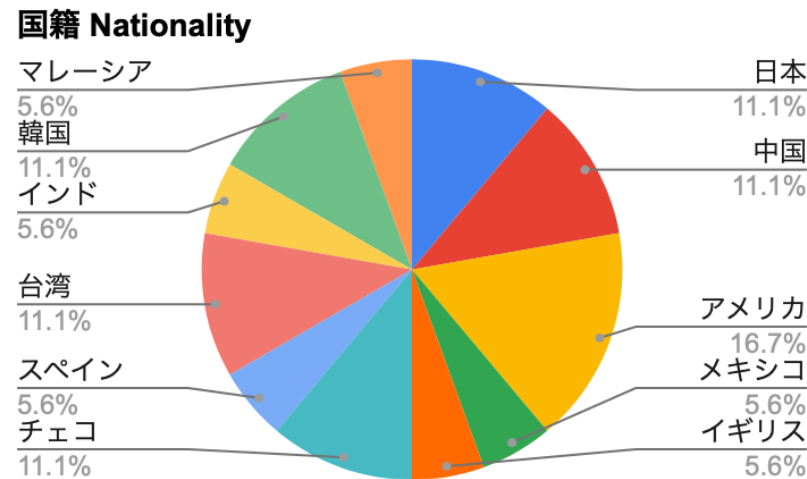
ワークショップ参加者アンケート

ワークショップ参加者アンケート

回答数: 18件

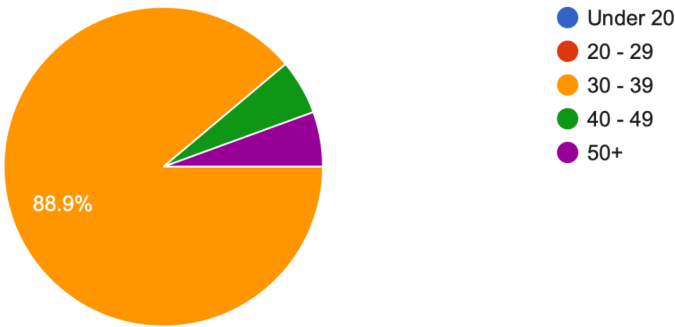
回答期間: 2025年1月18日～3月1日

1. 国籍



2. 年齢

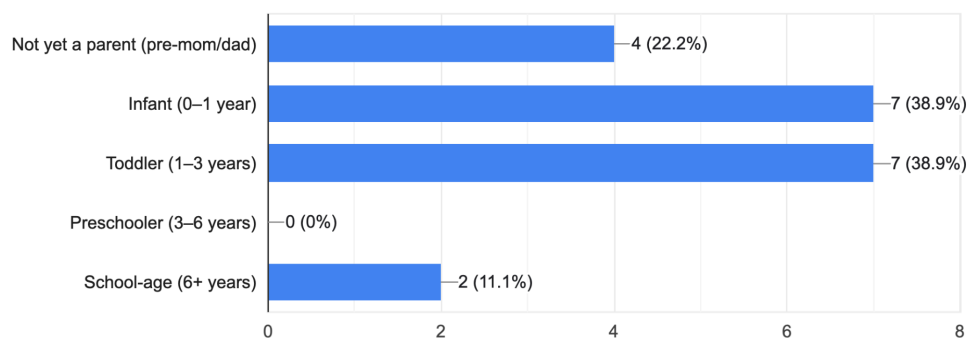
Age
18 件の回答



3. 子供の年齢

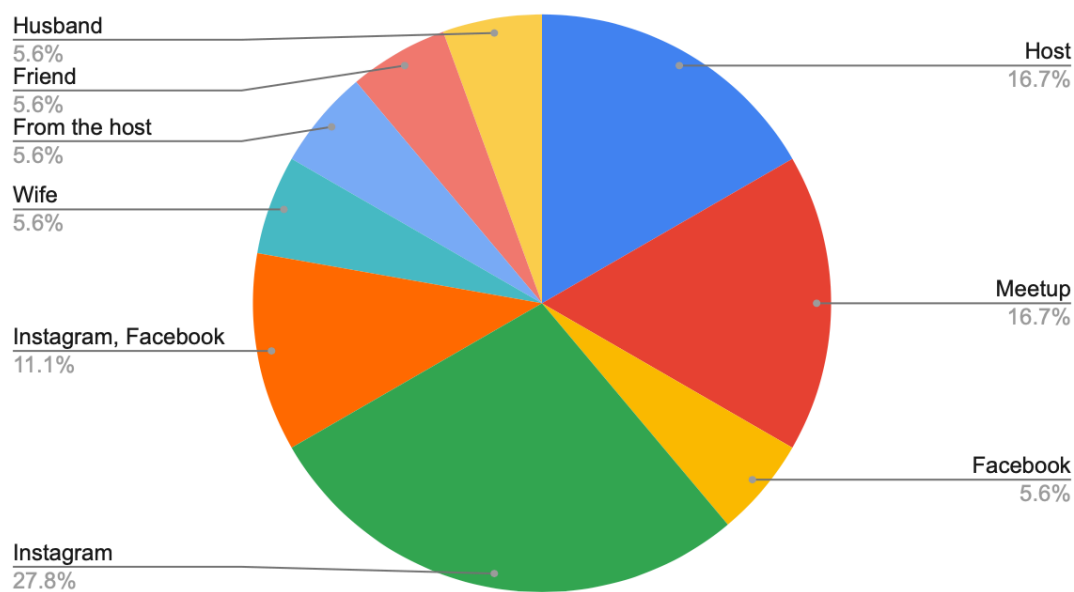
Your child(ren)'s age

18 件の回答



4. どのようにワークショップを知りましたか？

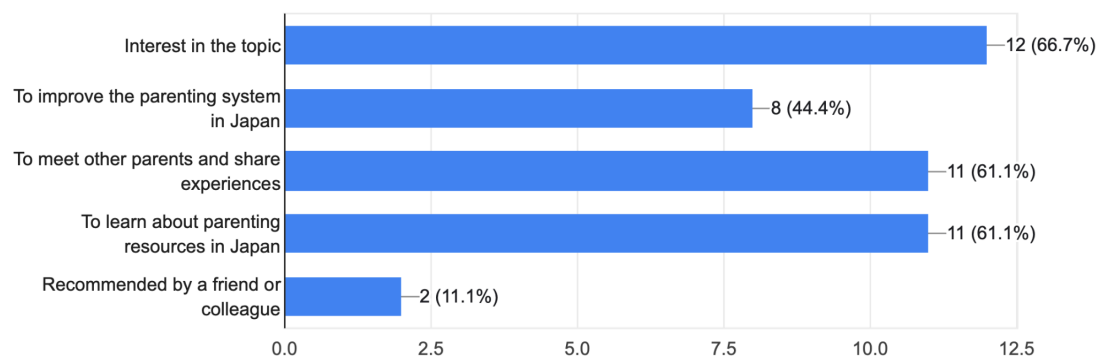
How did you hear about this workshop?



5. なぜワークショップに参加しましたか？

Why did you attend this workshop?

18 件の回答



6. ワークショップの内容に満足していますか？

How satisfied were you with this workshop?

18 件の回答

